

学校安全・防災だより

令和7年6月26日（木）

保健体育安全課発行【第3号】



「土砂災害調査予定箇所」の公表について

「土砂災害調査予定箇所」とは、県の防災砂防課が公表したもので、土砂災害警戒区域等以外の地区においても、近年土砂災害が頻発していることから、国の方針に基づき、より詳細な調査を行うことで、これまで把握できていなかった土砂災害のおそれがある箇所を新たに公表し、基礎調査の実施により危険性を確認するものです。

宮城県ではこれまでに、土砂災害警戒区域等を約8,500区域指定していますが、土砂災害のおそれのある箇所を新たに約18,700公表しました。今後、順次土砂災害警戒区域等の指定を進めていきますが、全てを指定するまでに数年間を要するため、事前に「土砂災害調査予定箇所」を公表することとしたものです。

各学校におかれましては、これまで「土砂災害警戒区域」に立地していなかった学校であっても、「土砂災害調査予定箇所」に該当する学校の増加が予想されます。下記のサイトよりご確認いただき、該当する場合は、避難場所や避難経路を再検討するとともに、それに基づく避難訓練結果を防災マニュアルに反映いただくようお願いします。県としては引き続き「学校防災アドバイザー」の派遣を継続しておりますので、是非ご活用ください。

確認サイト：[宮城県砂防総合情報システム（MIDSKI）](#)

サイトを開いたら、必ず左側の「土砂災害調査予定箇所」の「急傾斜地」と「土石流」にチェックを入れてご確認ください。



**宮城県**

宮城県砂防総合情報システム MIDSKI

▼ 発表情報・履歴 ▼ 解析・予測雨量 ▼ 土砂災害警戒判定メッシュ

現在警戒情報はありません

**はじめて利用する方へ**

はじめて利用する方や、使い方を詳しく知りたい方も
ご一読ください



土砂災害警戒情報（気象情報）

危険が迫っていることを察知する



**こちらを
クリック**

土砂災害に関する注意報・警報の発表状況を
リアルタイムで確認できます。
また、今後の警戒情報の予想を確認できます。

土砂災害警戒区域等確認マップ

土砂災害の危険のある区域を確認する




マップを見る

土砂災害が起こりそうな箇所を確認できます。

**蔵**

**土**

関

▶ 宮

▶ 土

▶ 土

▶ 宮

避難所における適切な食事の提供のための 学校給食施設等の活用推進の調査結果について

令和7年3月27日付けの事務連絡で、内閣府の防災担当より標記の調査結果が公表されました。下記の表のとおり、災害時に避難所となる学校のうち、家庭科調理室等を含む食事の提供が可能となる施設の活用に、合意している学校数の割合が8.8%と、全国平均を大幅に下回る結果となりました。

都道府県	避難所となる 学校数	うち、食事の提供が可能となる設備が備わっている学校数	うち、活用に合意している学校数		うち、活用の合意に向けて打合せ中の学校数	
			数	割合(%)	数	割合(%)
	数	数	数	割合(%)	数	割合(%)
青森県	418	373	175	46.9%	30	8.0%
岩手県	420	321	36	11.2%	26	8.1%
宮城県	551	489	43	8.8%	31	6.3%
秋田県	310	293	59	20.1%	37	12.6%
山形県	339	249	47	18.9%	9	3.6%
福島県	561	488	151	30.9%	19	3.9%
全国	28,667	25,549	6,813	26.7%	1,938	7.6%

(宮城県の「活用に合意している学校数」の割合 8.8%は 47 都道府県中 45 位)

※ こちらの調査依頼文書は、令和7年1月16日付けの事務連絡として内閣府と文部科学省の連名で出されたものです。こちらの依頼文書を受けて、保健体育安全課より1月28日付けで各市町村教育委員会の学校給食主管課長宛てに通知文書を発出しております。調査結果は2月28日時点のもので、各市町村の防災部局より回答いただいた数値を、県の防災推進課で取りまとめ、国に報告したものです。

<調査のポイント>

- ・「学校給食施設等」とあるが、家庭科調理室等も含む。
- ・「合意」とあるが、認識が共有できていれば OK。

今回の調査は各市町村の防災部局が回答したのですが、学校現場の認識や実態と必ずしも合致しない部分があったように感じます。災害が発生し避難所となった学校で、家庭科調理室を活用しないことなどは基本的には無いものと思います。防災部局より確認があった際には、「活用可能で合意」いただきますようお願いします。